

テキストボックスの活用

テキストボックスは、文字枠を、自由な位置にレイアウトできます。また、「テキストボックスのリンク」も使ってみましょう。

- ①新規文書に、次の文章を入力してください。フォントは「HG 丸ゴシック M-PRO」、12ポイントに設定してください。

コンビニ通信

コンビニエンス・ストアは、私たちの生活に、いまやなくてはならない存在。
24時間営業や豊富な品ぞろえ、多店舗展開など、
都市部の多様化した生活を支えています。

- ②1行目を、ワードアート（スタイル 16）に変更してください。フォントは「HG 創英角ポップ体」、66ポイントにします。ページの中央上に配置してください。
- ③本文（「コンビニエンス・ストアは～支えています。」）を、濃い赤、太字、中央揃えにしてください。
- ④③の下側中央に、図形（角丸四角形）を挿入してください。右図のように、「MS P ゴシック」20ポイントのテキストを追加し、スタイルは右図のような横方向のグラデーションに設定してください。
- ⑤④の下側に、高さ 60mm・幅 100mm の縦書きテキストボックスを、2つ挿入してください。1つは④の下側右上に、もう1つは紙面左下に配置します。
- ⑥⑤の2つのテキストボックスについて、上のテキストボックスから下のテキストボックスへ、リンクを作成してください。
- ⑦⑥のテキストボックスに、次の文章を入力してください。フォントは「HG 丸ゴシック M-PRO」、12ポイントに設定してください。

近隣で見られるブランド

広域に展開している大型チェーンと、地域性の強いチェーンとがあります。前者は、「セブンイレブン」「ローソン」「ファミリーマート」が有名。旅行先であっても、独特の色使いをした看板を見ただけで、「あっ、〇〇だ」とすぐにわかります。そして、そのブランドに対する信頼感から、初めて訪れる店舗であっても、安心して入ることができます。後者については、われわれが住む南関東を例に見ると、「スリーエフ」「ショップ 99」などが有名です。また、ローソンの多様化ブランドである「ローソンプラス」「ローソンストア 100」も、よく見かけます。地域の消費者ニーズに合わせたサービスが、特徴です。

- ⑧インターネットでコンビニエンス・ストアの写真、またはそれをイメージさせる写真やイラストを探してください。それを、文書のヘッダー内に貼り付け、用紙全体に拡大してください。
- ⑨⑤の2つのテキストボックスについて、塗りつぶしの透過性を 40%に、枠線を「なし」に設定してください。

- ⑩下図のようなデザインになったのを確認して、「テキストボックス」という名前を付けて、文書を保存してください。

（注意）ヘッダー内画像やテキストボックスの透過性は、印刷プレビューと実際の印刷物に大きな違いが発生します。印刷して使用するときには、別のデザイン方法を考えましょう。

